

## 美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体				
美原区の魅力づくり推進事業			美原区役所企画総務課				
事業目的	事業効果	活動指標	H29	H30	R1		
区民や地域の事業者などの多様な主体と連携することで、区の魅力を区民目線でしっかりと発掘・再認識し、美原区の魅力を広く発信する。	黒姫山古墳周辺で古代米関連イベントを実施することで、区の特徴である「農業」と「歴史」を身近に感じる機会を市民に提供することができる。また、市民協働で古代米の栽培・特産品開発等に取り組むことで、区民自身による区の魅力の発掘・再認識に貢献することができる。	古代米プロジェクト 協力事業者数	28	35	41		
		イベント(田植え体験、稲刈り体験、料理教室)参加者数	84 (田植え体験のみ)	128 (田植え+稲刈り)	117 (田植え+料理)		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○ 市民協働による農作業体験イベントや特産品開発などを通じて、区の特徴である「農業」と「歴史」を活かした魅力あるまちづくりを推進する本事業は、美原区まちづくりビジョンに沿った取組であり、行政が実施すべき事業である。	◎ 古代米の栽培は、区民によって立ち上げられた任意団体「美原の古代米プロダクツ」が行っており、農作業体験イベントも同団体の協力を得て実施している。 また、特産品開発の依頼や協力事業者の開拓などは、区民と行政が協力して行っている。	◎ 区民が育てた「美原の古代米」は新聞記事に取り上げられるなど区内外から注目されており、古代米や古代米を使った加工品を特産品として広くPRすることで、美原区の魅力を広く発信することができる。	○ 古代米関連イベントは区内外からたくさんの方が参加してくれるので、美原区の魅力を効率良くたくさんの人にPRすることができる。また、障害者支援施設に古代米の商品化作業の一部を担ってもらうことで、就労支援にも貢献できるなど、多方面に好影響を与えている。				
⑤自立発展性		総合評価					
◎ 協力事業者数は順調に増えており、古代米に関する活動の輪は広がっている。古代米の栽培や販売だけでなく、農作業体験イベントも区民が主体となって運営できるようになってきたので、今後さらに規模が拡大していけば、農業の活性化とともに自立発展する見込みがある。	◎ 区民が中心となって古代米をPRした結果、協力事業者の開拓につながり、古代米を使った特産品が複数増えた。さらに、古代米作りの後継者育成を目的とした「みはら農業塾」には塾生として2人が参加し、昨年の修了生が古代米の栽培に挑戦してくれるなど、古代米プロジェクトに関わる人の規模は広がっている。また、今年は台風の影響で稲刈り体験イベントは開催できなかったが、田植え体験イベントの他に新たに料理教室を開催することで、たくさんの人に美原区の魅力をPRすることができた。						
拡充 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">継続</span> 見直し 廃止	・協力事業者数も毎年増加しており、古代米関連イベントも引き続き多くの人に参加してもらっているなど、一定の成果が挙げられていることから、継続して事業を実施していく。 ・区民によって立ち上げられた任意団体が中心となって活動しているが、さらなる事業発展を図り自立させるために、行政として協力事業者の開拓や後継者育成を支援する。						